

保育士等の人材確保対策の強化

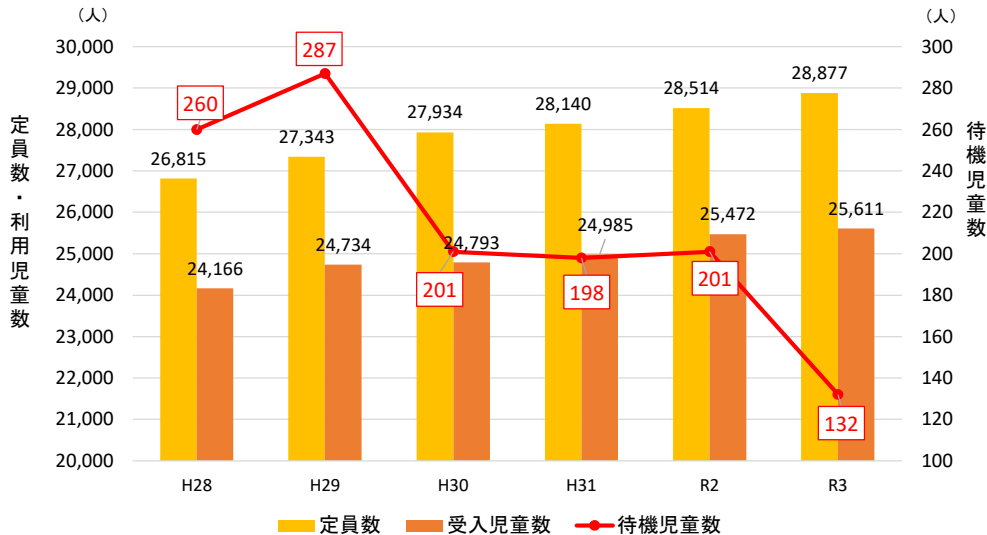
奈良県における取組

【担当省庁】内閣府、厚生労働省



保育士修学資金貸付等事業について、当初予算措置していただき感謝します。

1 保育所等の現状と課題



- 市町村の定員拡充の努力により、施設整備等が進み、受入できる児童数が増え、**利用児童数が増加**
- 利用児童数は定員数に達していないが、7市3町で**待機児童が発生**
- 待機児童の発生は、「**保育士等不足**」のため、十分に受け入れできないことが要因（待機児童発生市町の意見）

2 令和3年度における保育士確保の取組

(1) 保育士の確保

- ①「奈良県保育人材バンク」における**就職マッチング**
- ②保育士養成施設学生の修学資金や、潜在保育士の就職準備等のための資金貸付。**修学資金については、県外養成校の学生にも対象を拡大**
- ③**保育士名簿を活用した潜在保育士の発掘及び就職・復職支援**を新たに実施
- ④市町村と合同で開催する「待機児童対策協議会」における**保育士の子どもの優先入所**について協議を継続

(2) 保育士の定着促進

- ①保育現場の働き方改革の推進
保育士が働きやすい職場となるよう、労働環境の課題を把握・整理し、**業務改善マニュアル**を作成・普及
- ②キャリアパスに基づく体系的な研修の実施
- ③保育士等支援アドバイザー派遣

3 保育士確保における課題

(1) 地域区分格差

| 大阪府 | 県境 | 奈良県 |
|----------|----|--------|
| 枚方市 10% | | 生駒市 6% |
| 交野市 10% | | 平群町 6% |
| 大東市 15% | | 三郷町 6% |
| 東大阪市 10% | | 王寺町 6% |
| 八尾市 10% | | 香芝市 6% |
| 柏原市 10% | | 葛城市 6% |
| 太子町 6% | | 御所市 3% |

※10%以上を赤色で表示

(2) 保育士の県外流出

県内保育士養成施設卒業生で、保育施設に就職した者(197人)のうち、約46%(90人)が県外に流出

- 本県は、大阪府を中心とした同一の生活圈・経済圏に位置しているが、大阪府との「地域区分格差」が顕著であり、本県の実情に即していない。そのため、特に大阪府と隣接する市町村では、保育士の人材確保に支障が生じている。

(3) 過疎地域における保育士確保

〈奈良県町村会、町村議長会要望〉

保育士確保対策について、例えば、「保育士宿舎借上げ支援事業」は、子育て安心プランに参加する市町村(待機児童が発生する市町村)のみが補助対象となっている。しかし、待機児童は発生していなくても地元での保育士の確保が難しく、また、交通の不便さから通勤してもらえぬ人材を確保することが困難な市町村が存在する。

については、保育士確保が困難な市町村については、様々な地域から保育人材を確保できる施策を実施できるよう、保育人材確保事業を充実されたい。

国にお願いすること

【保育士確保のための取組への支援】

- 保育人材の不足等により待機児童が毎年発生する本県において、保育士等の処遇改善は重要な課題である。
本県の場合、公定価格における「地域区分」の設定について、近隣府県との地域区分格差が生じないよう、また、県内の市町村間の均衡にも配慮していただきたい。
- 本県過疎地域において待機児童は発生していないが、保育士の確保が課題となっている。こうした市町村が保育人材を確保できるよう、例えば、「保育士宿舎借上げ支援事業」について、待機児童解消を目的とした「新・子育て安心プラン」への参加要件を緩和するなど、制度の更なる充実をお願いしたい。

【県担当部局】 こども・女性局 奈良っ子はぐくみ課